

(第2号様式)

令和4年度高岡地区使用中学校教科科用図書調査研究方針

1 基本方針

選定される教科用図書は、教育基本法に定める教育の目的、目標並びに学校教育法に定める学校の目的及び教育の目標に基づき、我が国の現状と伝統について正しい理解に導くとともに、政治や宗教に対し公正であり、自主性を培い、人間性豊かな児童生徒の育成に役立つ内容であること。

2 必要条件

- (1) 学習指導要領の総則に示された教育課程編成の一般方針や各教科の目標・内容等を適切に反映するように、十分な配慮がなされていること。
- (2) 内容や表現等にかたよりがなく全体として調和がとれ、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等を育成するための質・量両面の充実がなされていること。
- (3) 児童生徒が意欲的に学習に取り組むための配慮・工夫がなされていること。
- (4) 内容、表現、分量、配列などが児童生徒の心身の発達段階に適応していること。

(第3号様式)

各種目の調査方針の報告書〔中学校用〕

種 目	歴史的分野	調査対象教科用図書種類数	8
委員名			
調査方針	(1) 学習指導要領に示された教育課程編成の一般方針や各教科)の目標・内容等を適切に反映するように、十分な配慮がなされていること。 (2) 内容や表現等にかたよりがなく全体として調和がとれ、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるとともに、思考力・判断力・表現力等を育成するための質・量両面の充実がなされていること。 (3) 児童生徒が意欲的に学習に取り組むための配慮・工夫がなされていること。 (4) 内容、表現、分量、配列などが児童の心身の発達段階に適応していること。		
調査対象図書	教科用図書名	発行者の番号	発行者の略称
	新しい社会 歴史	2	東書
	中学社会 歴史 未来をひらく	1 7	教出
	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	4 6	帝国
	中学歴史 日本と世界	8 1	山川
	中学社会 歴史的分野	1 1 6	日文
	[最新]新しい日本の歴史	2 2 7	育鵬社
	ともに学ぶ人間の歴史	2 2 9	学び舎
	新しい歴史教科書	2 2 5	自由社

(第 4 号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	新しい社会 歴史
発行者番号	2	発行者略称	東書
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 各単元（章）の導入で単元全体を貫く「探求課題」を立て、節ごとや各時間で「学習課題」を設けており、生徒が見通しを持って段階的に課題解決できるよう工夫されている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 「地域の歴史を調べよう」において、時代が異なる 6 つの事例について調査の流れをおさえ、考察したことを効果的に表現できるような言語活動が設定されている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキルアップ」や「集める」「読み取る」「まとめる」のコーナー、各時代に特徴的な絵画資料を取り上げる「資料から発見！」を設け、資料を活用する際に必要な技能を身に付けるための工夫がなされている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 「分野関連マーク」や「教科関連マーク」をつけ、他分野・他教科の学習内容との関連が図れるよう配慮されている。			

(第 4 号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	中学社会 歴史 未来をひらく
発行者番号	1 7	発行者略称	教出
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 各章の導入の「学習を始めよう」で、時代を象徴する資料と問いを示し、学習する時代を概観できるようにすることで、見通しを持って学習を進められるよう工夫されている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 学習課題と対応した「表現」では、歴史的事象についての説明や話し合い等の表現活動を、各章末の「学習のまとめと表現」では、時代の特色を自分の言葉で説明する活動を取り入れ、継続的に、また、学習の深まりに応じて言語活動が設けられている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 資料を活用する方法や手順を示した「歴史の技」、資料を読み解く視点を問いの形で示した「読み解こう」・「Q」が適宜設けられており、課題意識を持って資料を読み取りながら考察できるよう工夫されている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 脚注部に、各分野との関連を示すマークが設定されており、地理・公民の学習との関連を図る工夫がなされている。			

(第 4 号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
発行者番号	4 6	発行者略称	帝国
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 「タイムトラベル」を設け、イラスト資料から時代の概観を視覚的にとらえられるよう工夫されている。また、章・節・各時間の冒頭で、学習する内容を問いの形式で示し、見通しを持って、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 各時間に「説明しよう」。各節（章）末に「学習を振り返ろう」が設けられ、言語活動を繰り返し行い、学習内容を活用して思考したことについての表現が徐々に高まるようになっている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 「技能をみがく」を設定し、技能を体系的に身に付けられるよう工夫されている。また、グラフや写真、図表等に「資料活用」を設定し、問いを適宜設け、技能の育成が図れるようにしている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 小学校での学びや地理・公民との関連内容を脚注に示し、系統や分野の関連を意識した学習が図れるようになっている。			

(第 4 号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	中学歴史 日本と世界
発行者番号	8 1	発行者略称	山川
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 学ぶ時代の全体像がつかめるよう章の始めに帯年表を設けたり、各単元の冒頭の問いにより、見方・考え方に着目できるようになっていたり、単元全体を見通せる工夫がなされている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 第 1 章 2 節「身近な地域を調べよう」では、地域学習の方法とともにレポートの書き方や発表の仕方のポイントが示されており、以後の学習での活用を促すものとなっている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 「歴史を考えよう」では、写真・風刺画・グラフや表等に問いを設定し、各種資料を読み取る視点や読み取ったことを、その問いの解決につなげることができるものとなっている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 冒頭の「歴史を大きく変えた人物」では、小学校で学習した人物から時代の区分をとらえることができるような設定がなされ、系統的に学習できるよう配慮されている。			

(第 4 号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	中学社会 歴史的分野
発行者番号	1 1 6	発行者略称	日文
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 各編の導入で、資料を基に単元のめあてを明確にするようになっており、各時間の学習では「学習課題」や「見方・考え方」の例、必要な場面での「アクティビティ」、編（章）末には「チャレンジ歴史」を設け、学習課題の解決に向けて段階的に見方・考え方を働かせることができるようになっている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 語句を使ったり、理由を説明したりする各時間の終わりの「確認」やグループでの話合いの場面を示す「チャレンジ歴史」の設定により思考力・判断力・表現力を高める工夫がなされている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 情報の収集、読み取り、まとめにおける各技能を育むための「スキルアップ」や「資料活用」が設けられている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 小学校や地理・公民の学習との関連を示す脚注の「連携コーナー」や、学習内容に応じて他教科と関連のある教材が掲載されている。			

(第4号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	[最新]新しい日本の歴史
発行者番号	2 2 7	発行者略称	育鵬社
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 各章の冒頭には、各時代の大きな流れが分かる「歴史絵巻」や各時代を象徴する資料が設けられている。また、各時間に「学習課題」が設定されており、生徒が見通しを持って課題解決できるよう工夫されている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 各時間や章末に設けられた「学習のまとめ」は、学習内容に応じた問いに対して考え、それについて多様な言語活動を用いて表現できるようにしている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 各章末に、歴史博物館の学芸員になったつもりで展示方法を考えさせる「『私の歴史博物館』をデザインしてみよう①～⑥」を設け、諸資料から様々な情報を調べて効果的にまとめる技能を身に付けることができるよう配慮されている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 冒頭の「歴史の流れと先人の活躍」では、小学校で学習した人物から時代の区分をとらえることができる設定となっており、系統的な学習に配慮がなされている。			

(第 4 号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	ともに学ぶ人間の歴史
発行者番号	2 2 9	発行者略称	学び舎
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 各章の始めに、その時代の各地域の生活や世界とのつながりを視覚的にとらえられる資料と学習課題を設けており、見通しを持って学習を進められるよう工夫されている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 各部（章）の終わりの「学習のまとめ」では、課題を設定して歴史的事象の関連付けを意見交換やグループ活動等で行えるようにしたり、その時代の特色を前の時代と比較して自分の言葉で表現したりすることができるようになっている。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料等、多様な資料を掲載し、それらを大きく鮮明な画像にすることで、必要な情報を読み取って活用できるよう配慮されている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 冒頭の「歴史を楽しく学ぼう」では、小学校で学習した人物から時代の区分をとらえることができる設定となっており、小学校での学びがつながるよう配慮されている。			

(第4号様式)

各種目の調査方針の報告書[中学校用]

種目	社会（歴史的分野）	教科用図書名	新しい歴史教科書
発行者番号	225	発行者略称	自由社
内 容 ア 主体的に学習に取り組むための工夫 生徒が見通しをもって課題解決ができるように、「学習課題」や「チャレンジ」を設けたり、「もっと知りたいコラム」で、様々な出来事や人物等について理解を深めることができたりと、探究へ誘う工夫がある。また、学ぶ時代の全体像がつかめるよう、欄外に年表を配置するなどの工夫がなされている。 イ 言語活動の充実を図るための工夫 章末に「時代の特徴を考えるページ」、「対話とまとめ図のページ」を設け、「時代比較」「人物比較」「ひとこと作文」等、ヒントや視点を参考に自分の言葉で表現できるような工夫がある。 ウ 情報活用能力の育成を図るための工夫 章末には、生徒の探究をうながす「調べ学習のページ」を設け、過去のことを現代（身近なこと）と結び付けて考えることができるような構成や、諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身につけることができるような工夫があるなど配慮されている。また、資料が豊富で毎時間の中で技能を習得するための授業を組み立てることができるようになっている。 エ 教科等横断的な学習の充実のための工夫 各章の冒頭の「登場人物紹介コーナー」では、小学校で学習した人物から時代の区分をとらえることができ、系統的に学習できるよう配慮されている。また、本文最後のページでは現代社会の課題を明らかにしており、地理や公民との系統立てた授業ができるように工夫されている。			